## 備前市事務事業評価表

					コード	担当	農林振興	課	7		事務事業の評価	7	(平成17年度事業)
事務事業名		森林普及振興	事業(備前)	04-0	01-02-06		18 大道健一				1	□ 関係法令等で目的が定められており妥当である	課題認識
事業実施期間							話 0869-6		1			☑ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
3 5112 11		大工	項目も	てなしの心とた	くましさ				=	台	目的の妥当性		
総合計事業(政策)				かな食を支えるまちづくり				1	· 対		□ 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
			7.1	<b>*</b> 業							関係法令等:		
5 113 (1)				ネ 林の保全					1 .	象		□ 受益者の拡大を検討する余地がある	2
		20	NA NA	IN OUR T					_ \	٠	対象の妥当性		
事業について										内		☑ 現在の対象者は妥当である	利用者の利便性向上並びに、
すべについ									事業の目的、対象、	容		□ 市民、団体などから要望・要請のある事業である	水源林確保の目的から必要な事
	的生	生活環境保全林整備及び水源林整備事業として分収造林の維持管理。							内容を考え	市民ニーブの至当	世 □ 市民に概ね好評な事業である	業である。	
										女出	4	□ いっぱんははながれる事業とめる □ 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
		森林利用者並びに下流域住民								世	性評価市の関与の妥当性	□ 国・県又は関係法令で定められている事業である	
	象									並		□ 民間に類似サービスがある	
(誰のために)		林州が用台並しに下加以住民							下さい。	価		世 民間に類似り一と人がめる ▼ 本市が関与すべき事業である	
ф ,	<del>/</del> ++	林道・遊歩道・植栽区等の草刈、ヒノキ、スギ等の除間伐の実施。							<b>"</b>			□ 事業を取り止めた場合の影響は大である	
内	容材											□ 単位当たりコストは増加傾向にある	
											コストの効率化	□ コスト削減の努力をしている	
=# 5/4										杰力		☑ できる限り民間活力を利用している	
事業の結果	<b></b>	. → be str								玄		受益者負担額は適正である	事業実施にあたっては必要最小限
実施項目	1 -	17年度					- N 1 N		华		□ 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている		
		回数な	(単位)	回数な	£ 2	(単位)	回 数	など(単位		の	手段の最適化		ては契約管理課に審査を受けるなどコスト削減に努め適正な事業の執行
生活環境保全林管			1 🗆						事業費や単位当	₹平		事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	<ul><li>□スト削減に劣め過止な事業の執行</li><li>一により効率性を高める。</li></ul>
水源林整備事	業		1 🗆						だりコストに留√ 意しながら効素	価		□ 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	1000 J/34 II 2 1000 00
									サの評価を行っ	1	職場の効率化	□ 事業に関するOJT (職場研修) は行われている	
									775W	A	444201273110	☑ 事業の進行管理を定期的に行っている	
								1				□ 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
		事業費	財源	事業費	財	源	事業費	財源			目的達成度	☑ 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	
事 業	費 直接	事業費 2,510 国果刊		直接事業費	国果補助金等		直接事業費	国県補助金等		有	口切是网及	□ 成果指標は前年度より向上している	
		牛費 2,574 受益		人件費	受益者負担		人件費	受益者負担		効	成果向上の可能性	□ 成果は向上しており今後も向上する見込みである	
(単位:千日	円) \		ī債		市債		/	市債		性		└ ○ 今後、成果指標は向上する余地がある	県、地元(区・学校)の連携により植栽・草刈等が実施されるなど事
	ê	計 5,084 一般	財源等 5,084	合計 (	一般財源等	0	合計	0 一般財源等	D	<u>の</u>		□ 事業について積極的に情報提供している	業の必要性は認識されている。
必要人員	i i	0.29 人					,	<u> </u>	評	市民参画度	□ 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
結果指標	票名	生活環境保全材								りにき回皮	☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
結果指標	票量	1						1 / \			□ 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	3	
巣 単位								1 / \					
対前年 対前年	比	_		0.0	00%				7 .		総合評価		
① 事業費	責	2,016,000	<b>)</b> 用			円		F	i / /		<b>4.</b> 不理	+ ** # *	
単位当たり二	スト①	2,016,000 P				円	re l		事業の目的やそ	X		林整備の維持管理については、今後散策道のルート見直 ŧ持管理費の見直しを図る必要がある。水源林整備事業:	
結果指標	票名	水源林整備						の数値目標であ	ン	よる維持管理な			
結果指標	票量	1							る成果指標に留意しながら有効	1	のの順切ら注	755 C 67 C 6	C
巣 単位									性の評価を行っ   大下さい。				
対前年 対前年	比	_		0.0	00%				<b>大下さい</b> 。		今後の方向性		
② 事業費	責	493,500	円			円		F	il/ //		□ さらに重点	化する(行政資源を集中的に投入する) 🗌 事業の縮小な	を検討する
単位当たり二	スト2	493,500	円			円		F	√ //		☑ 現状のまま	継続する □ 休止・廃止る	を検討する
									7 /		☑ 見直しのう:	えで継続する □ 完了・統合	
事業の成	果							4	_ /	翌2	年度 結果指標量(		
								7 ~		標値 成果指標量			
404		C+=/+-	式又は説明 維持管		管理実施数/維持管理事業								
成果指標	<b>Y</b>	目標達成							改善事項				
							ŀ	<u>=1</u>	価の視点	改善内容	改善により期待される効果		
		17年周						i	0				
成果指標		100						1					
対前年比			0.00%				1						
		100					<b>与</b> 左连		1				
到達目標的	<b>但</b>	100	到達目標年度			毎年度	毎年度		$\vdash$				